（様式－１）

（用紙Ａ４）

|  |
| --- |
| 公募参加資格確認申請書令和７年〇〇月〇〇日担当官四国地方整備局肱川ダム統合管理事務所長　清水　敦司　殿　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住　　　　所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　商号又は名称　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和７年２月２０日付で公募のありました「災害発生時における河川災害等応急復旧に関する協定」に係る公募参加資格について確認されたく、下記の資料を添えて申請します。　なお、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条の規定に該当する者でないこと並びに添付資料の内容については事実と相違ないことを誓約します。記　１ 応急復旧協定締結説明書５．(2)①に定める施工実績を記載した書面　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２ 応急復旧協定締結説明書５．(2)②に定める配置技術者の資格等を記載した書面　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【問合わせ先】　　担当者　： 　○○　○○　　部　署　： 　○○本店　○○部　○○課　　電話番号： （代）○○○－○○○－○○○○ （内線○○○）　　　　　　　　ＦＡＸ○○○－○○○－○○○○ |

（様式－２）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 （用紙Ａ４）

施工実績

［記入例］ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工事名称等 | 工事名 |  |
| 発注機関名 |  |
| 受注者名 |  |
| 施工場所 | （都道府県名・市町村名） |
| 最終請負金額 |  |
| 工期 | 　令和　　年　　月　～　令和　　年　　月 |
| 受注形態 |  　単体／ＪＶ（出資比率） |
| 工事内容 | 構造形式、規模・寸法、使用機材・数量、施工方法、等 |  |
|  CORINSへの登録の有無 |  有り（登録番号を明記）又は無し |

 注）１．CORINS登録有りとする場合は、登録内容を事前に確認しておくこと。

　　２．CORINSに登録されていない等で施工実績が証明できない場合は、工事の工事実績が確認できる書面（工事の実績が確認できる契約書類／施工計画書及び図面等）の写しを添付すること。

　　３．記入する施工実績の発注機関名は、当該工事の契約日における名称とすること。 （様式－３）

配置技術者の資格

［記入例］ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会社名：

|  |  |
| --- | --- |
|  現場責任者の |  技術者　　　　　　 |
|  生年月日（和暦） |  昭和○○年○○月○○日 |
|  最終学歴 |  ○○大学　○○学科　○○年卒業 |
|  法令等による資格・免許　（取得年及び登録番号） | 　 ○○施工管理技士 （平成○年○月○日　○○○○○○○○） |

|  |  |
| --- | --- |
|  現場責任者の |  技術者　　　　　　 |
|  生年月日（和暦） |  昭和○○年○○月○○日 |
|  最終学歴 |  ○○大学　○○学科　○○年卒業 |
|  法令等による資格・免許　（取得年及び登録番号） | 　 ○○施工管理技士 （平成○年○月○日　○○○○○○○○） |

注）１．配置技術者は、２．（５）①に示す資格を有した者であること。

 　２．応急復旧に際し、専任で配置予定の主任技術者又は監理技術者の候補者を記載するものとする。

　 ３．配置技術者は、最大２名まで記載することができる。なお、当該申請書を確認する時点においては、専任、非専任の状況について問わないものとする。（ただし、実際に応急復旧協定に基づき工事請負契約を行う際には、当該応急復旧に専任できる配置技術者を求めるものとする。）

　 ４．配置技術者に必要な資格・雇用関係等の確認ができる資料の写しを提出すること。

（様式－４）

担当区域希望調査表

|  |  |
| --- | --- |
| 区　域　名 | 希望する区分 |
| 肱川ダム統合管理事務所野村ダム管内鹿野川ダム管内 | 第１希望（区分①）、第２希望（区分②） |

※野村ダム直轄管理区間

　区分①（野村ダム）西予市野村町野村地先（野村ダム直轄管理区間最下流端）

 　　　　　　～西予市宇和町明間地先（野村ダム直轄管理区間最上流端）

※鹿野川ダム直轄管理区間

　区分② （鹿野川ダム）大洲市肱川町山鳥坂地先（鹿野川ダム直轄管理区間最下流端）

 　　　　　　　～西予市野村町蔵良地先（鹿野川ダム直轄管理区間最上流端）

なお、参加希望者が多数になった場合や一部の区間に集中した場合には、担当区間を調整する場合がある。